学校だより7号

西崎特別支援学校
TEL098-994-6855　令和６年 12 月２日発行　発行責任者 校長 呉屋光広
FAX098-994-6856　学校ホームページ www.nishizaki-sh.open.ed.jp/

教育目標
・心身ともに健康で明るく、たくましい幼児児童生徒
・自分のことは自分でできる幼児児童生徒
・心豊かで思いやりのある幼児児童生徒
・最後まで努力し、自分の持てる力を発揮し喜んで働く幼児児童生徒

「教育相談」と「教育相談週間」

県内の特別支援学校では、近隣の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校(以下、小中学校等)に、教職員を派遣し、支援を必要とする幼児児童生徒についての相談を受けたり、必要な情報提供や助言を行っております。支援を必要とする児童生徒には、文字を読むことはスラスラできても、書くことが極端に苦手であったり、授業に集中できず、離席が多い、あるいは、友達との適切な関わり方が分からず、そのため、何かと人間関係でのトラブルが多く聞かれます。こうした個別の教育的ニーズのある子どもたちが小中学校等にも在籍しています。

個別の教育的ニーズに応える教育のことを特別支援教育と言いますが、小中学校等の先生方が指導や支援の仕方がわからないといった時や大勢の児童生徒のいる教室の一斉指導では上手くいかない場合に、特別支援教育に詳しい、特別支援学校の教員に相談等を要請するのです。約２０年前から始まっています。

その際に、小中学校等に出向いて相談を受けて気づくことは、その学校の先生方が、教育的ニーズのある児童生徒の指導に様々な試みをしながら、大変熱心に取り組まれている、ということです。ただ、効果が今ひとつ上がっていない時、個別の教育的ニーズに応えるための専門性がある特別支援学校の教員の見方や考え方の改善へのヒントは、大いに参考にしていただけるようです。

一方で、具体的な支援を提案し、その学校の先生方と事例を共有することは、特別支援学校の教員にとっても貴重な研修の機会となっています。

また、子どもの状況によっては、関係機関や専門職の知見を得ることが必要な時もあり、そのための情報提供も行います。医療や福祉等の関係機関と連携しながら、支援の輪を広げることが課題の解決につながります。

このような特別支援教育に関する相談の取組は、特別支援学校のセンター的機能として学校教育法第 74 条で規定されています。また、本校を含め特別支援学校には特別支援教育コーディネーターが配置され、校内外の相談業務にあたっています。

さらに、新型コロナ感染症拡大防止のため取りやめていた、地域のセンター的役割としての外部向け研修会を今年度は計画しています。これからも本校は、地域の様々な小中学校等とつながり、地域の子どもたちの支援に関わって参ります。

本校に在籍する幼児児童生徒においては、各担任にご相談いただくようお願いします。担任を中心とする教育支援体制(学年主任、学部主事、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、支援部等)をしっかりと整えております。

外部向けとして本校教育支援部が窓口となっている「教育相談」を行っております。QR コードを読み取るか、クリックして頂くと、詳しい内容がご覧いただけます。

さて、今年度より新たな取り組みとして「教育相談週間」を実施しています。今年度２回(１学期：5/7～5/10、２学期：9/2～9/6)の個別面談を担任が行うことを基本に実施しました。児童生徒がそれぞれの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格の成長への援助を図るためのものです。日常の学校生活における児童生徒の不安や悩み等について、訴えに耳を傾けていくことも重要な教育相談の一つです。また、児童生徒と教師の信頼関係を築く機会となればと考えています。教育相談期間中は、幼児児童生徒一人一人が変則的な下校時間になり、保護者の皆様にはご不便な点もあったかと思いますが、次年度も実施予定です。今後もご理解とご協力をよろしくお願いします。

西崎特支(教育相談)　西崎特支(教育相談)

教育相談のご案内

＜6 年生　楽しかった修学旅行＞

9 月半ば頃から修学旅行についての学習を行い、しおりやカウントダウン表の作成、イルカに触る練習や暗闇でプラネタリウム鑑賞を繰り返し練習しました。日に日に子ども達の期待が高まり、宿泊地の場所（市町村名）や体験活動等への理解が深まっているのを 6 年職員一同感じることができました。

11 月 14 日（木）～15 日（金）の 1 泊 2 日、もとぶ元気村の「スマイルドルフィン（イルカに触れよう）」の体験活動から始まりました。目の前で見る大きなイルカにビックリしていた子ども達ですが、みんな近くまで行くことができ、触ったりハンドサインを送ったりすることができました。船に乗る「コーラルビュークルージング」では心地よい海風にあたり、魚礁ポイントで船底が潜水してたくさんの魚を鑑賞することができました。「タベの集い」ではダンスや漫才、クイズ、キャラクターになりきる等、のそれぞれ特技を披露して大いに盛り上がりました。全部の活動にみんなでチャレンジすることができ、思い出に残る素晴らしい修学旅行になりました。子ども達の笑顔が最高でした☆

中学部　特体連体育大会

11 月 29 日、「タピック県総ひやごんスタジアム（沖縄市）」での体育大会に、中学部の３年生全員及び１，２年生の選抜選手が参加しています。選手たちは体育の授業だけではなく、朝練にも取り組み頑張ってきました。当日は、今年一番の冷え込みでしたが、寒さに負けないぐらいの全力走で頑張っていました。保護者の皆様、お弁当の準備ありがとうございました。学校に残った生徒たちも、テレビでライブ中継を観て応援を頑張りましたよ～。

高等部　第 36 回沖縄県特別支援学校体育大会

特別支援学校体育大会が 11/29（金）に、タピック県総ひやごんスタジアムで行われました。強風が吹き気温が下がる中、無事全競技を行うことができました。36 名の生徒が高等部代表として参加しました。体育の授業を通して、大会へ向けて選手も応援団も全員で一生懸命練習に取り組んできました。結果は、銀３つ、銅５つ、リレーでは１チームが２位と３チームが３位を獲得し表彰台に上がることが出来ました！選手の皆さん、学校で応援してくれた生徒の皆さん、保護者の皆様、本当にお疲れ様でした。

12 月の予定

１日(日)～３日（火）　修学旅行(高２)
２日(月)　幼稚部入学者選抜入学予定者発表・校外学習(小３)・特体連体育大会表彰式(中・高)
３日(火)　校外学習(小２)・体重測定・くろしお号　校外学習(高３)・ALT 来校
４日(水)　校外学習(中２)・修学旅行振替休日(高２)
５日(木)　校外学習(幼)・スクールカウンセラー来校
６日(金)　校外学習(小４)
７日(土)　CGG 運動・PTA 交流会　中学校総合文化際(８日まで)
９日(月)　臨時検診(もれ検診)・観劇(幼・小)
１０日(火)　第２回潮平小交流(小２～４年)　身だしなみ講座(高３)
１１日(水)　校外学習(中１)・学校評議委員会　学校評議員給食試食会
１２日(木)　職員研修(１３：２０下校)・ALT 来校
１７日(火)　２学期伝達表彰式・くろしお号・ALT 来校
１８日(水)　校外学習(中３)
１９日(木)　お楽しみ会(幼・小)
２０日(金)　チャレンジラン大会(中)
２５日(水)　２学期終業式（１３：２０下校）　冬期休業日１２月２６日～１月５日
１月６日（月）　３学期終業式（１１：５０一斉下校、給食なし）